

## 実践栄養学研究セミナー2025（初級編 第3回）

日時：2025年12月14日（日）10時00分から16時30分

場所：ウインクあいち 1208会議室

### 1) はじめに

セミナー参加者11名（欠席2名）に対し、日本栄養改善学会東海支部会支部長の後藤千穂先生よりご挨拶がありました。3回にわたりセミナーに参加していただいたことへのお礼とともに、研究は統計解析や発表を含めて一朝一夕で身に付くものではないため、トライアル＆エラーを繰り返しながら継続して取り組んでほしいとのお言葉をいただきました。



### 2) 論文抄読発表会

参加者による「論文抄読発表会」を実施しました。各自が興味のある論文を検索し、論文と自身の研究との関連性や論文内容について、事前にPowerPointにまとめてもらいました。発表は1人あたり10～15分行い、その後、参加者同士での質疑応答、さらに発表者から論文内容やまとめ方についての講師への質問と講師からのコメントを含め、約10分間のディスカッションを行いました。

参加者は各自、論文を十分に読み込み、要点を的確に整理して発表しており、参加者同士のディスカッションも活発に行われました。



### 3) 講義「抄録の作り方」

講師は名古屋文理大学の高橋圭先生が務めました。講義の冒頭では、研究計画の立案から研究発表に至るまでの一連の流れと、これまでのセミナー各回の内容の位置づけについて振り返りました。その後、抄録の構成要素や各要素の分量の目安、抄録作成のポイントについて学びました。講義では構造化抄録を基に、各構成要素について具体的に確認していきました。



### 4) セミナー全体を通しての質疑応答

最後に、セミナー全体を通しての質疑応答を行いました。特に、研究を実施する際の倫理審査に関する質問が多く寄せられました。

## まとめ

セミナー終了後に実施した参加者アンケートでは、セミナーの時間および内容について、全員から「満足」または「どちらかといえば満足」との評価を得ました。また、3回のセミナーを通しての自己の目標・目的の達成度については、「達成」または「どちらかといえば達成」が80%を占めました。一方で、「どちらかといえば未達成」と回答した参加者が2名おり、その理由として、選択した論文に対する疑問点を十分に解消できなかったことが挙げられました。

本セミナーでは、研究計画の立て方、統計処理の方法、論文の検索および読み方、スライドのまとめ方についての講義・演習を行い、さらに抄読発表を実施することで、研究発表までの一連の流れを体系的に学ぶ機会となりました。本セミナーで得た知識や経験が、参加者の今後の研究および研究発表につながることを期待します。

なお、本実践栄養学研究セミナーは、公益社団法人愛知県栄養士会との共催により実施しました。

(文責 実践栄養学研究セミナー講師一同)